

アンデルセン物語（1971）

メディア TV アニメ
ジャンル ファミリー ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
1971/01/03 ～ 1971/12/26
TV放映 火曜日
19:30～20:00
フジテレビ

【解説】
『ムーミン』に続いて日曜夜7時30分に放送された、カルピスの提供による名作アニメ第2弾。H・クリスチャン・アンデルセンの物語を虫プロダクションがTVシリーズ化。「みにくいアヒルの子」（全2話）をはじめ、多くの短編～長編原作を全1～4話で映像化している。基本的に各ストーリーの連続性は無いが、それぞれの物語を傍観する狂言回しとして魔法の国の妖精キャンティとズッコをレギュラーに登場させた。魔法の国で立派な魔法使いになるため、魔法大学に入りたいと願う妖精のキャンティ。しかし魔法大学に入学するためには魔法カードが百枚必要だった。善行をひとつするごとに現われる魔法カードを求め、キャンティは相棒のズッコとともにアンデルセンのお話の世界に来訪。かくしてキャンティたちはアンデルセンの物語に登場する人々へそっと力を貸すのだが、はたしてその結果は……。

【クレジット】

演出	藤田一郎 杉山卓 神田武幸
プロデューサー	岩崎正美
原作	ハンス・クリスチャン・アンデルセン Hans Christian Andersen
脚本	田代淳二 伊東恒久 吉田喜昭 雪室俊一
キャラクターデザイン	牧野圭一
作画監督	波多正美 関修一
撮影監督	原屋楯男
美術監督	竹内俊英
編集	尾形治敏
音響監督	田代敦巳
音楽	宇野誠一郎
効果	柏原満
声の出演	増山江威子 山田康雄

キャンティ
ズッコ